

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成27年9月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成27年9月（大気質、水質）の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1 事後調査の概要（平成27年9月）

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 表-1(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	9月1日～30日	通年連続

(2) 水質（一般項目）表-1(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(GOD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	9月3日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

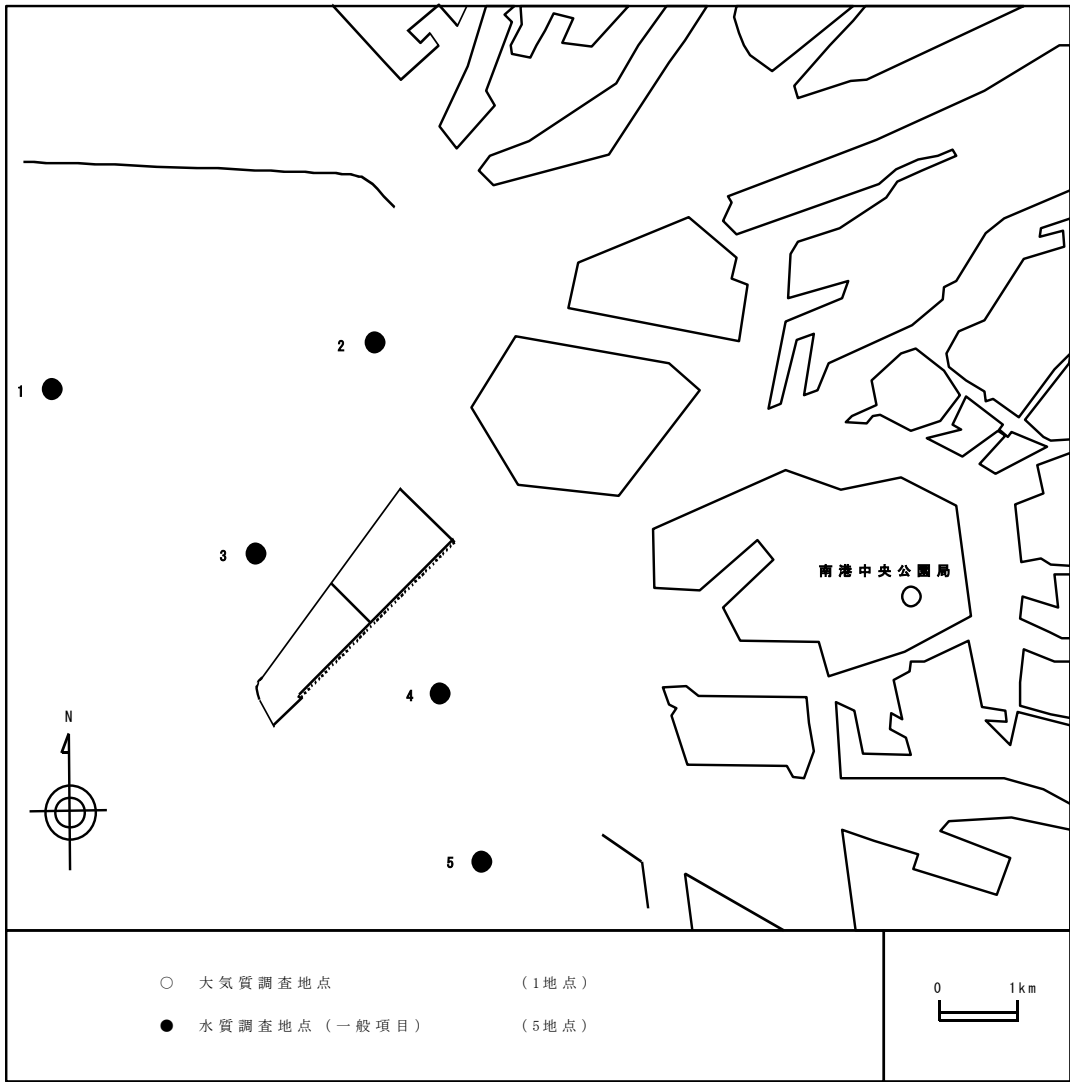
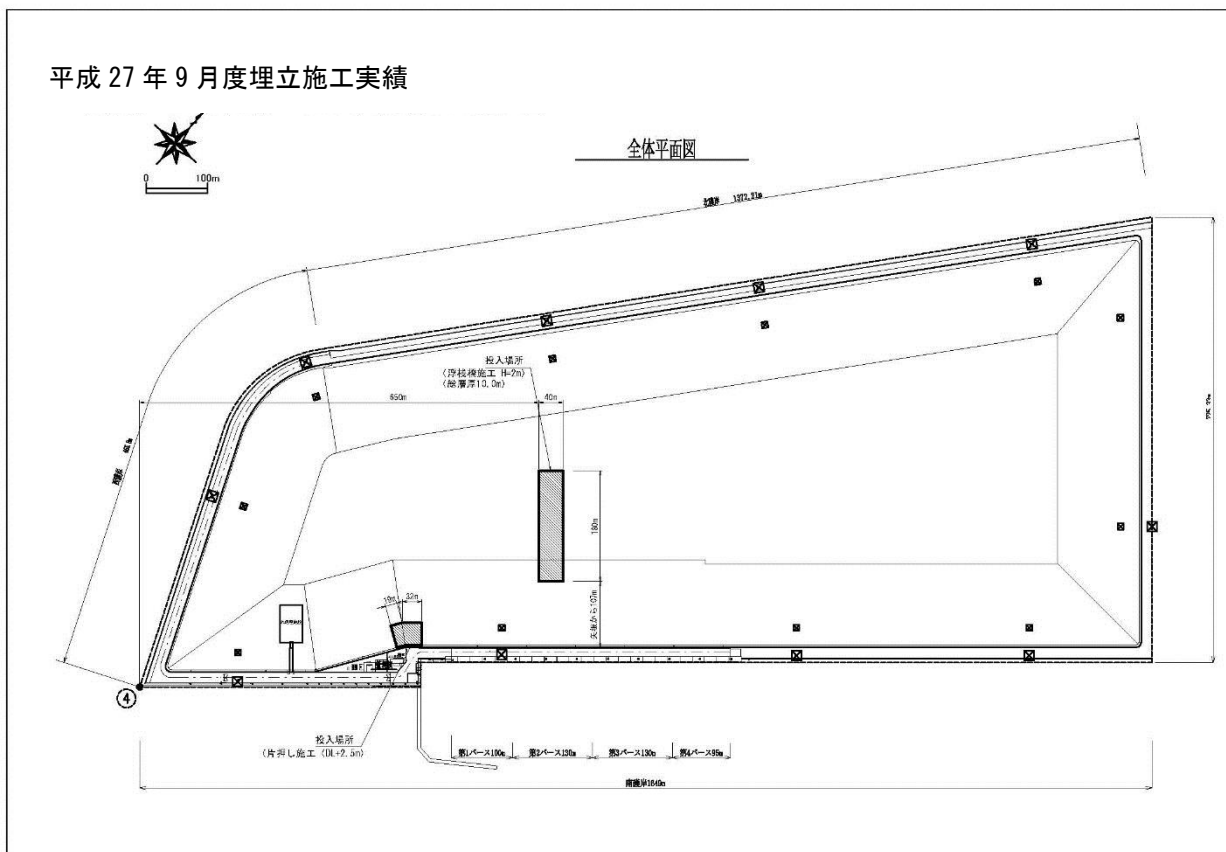


図-1 大気質、水質(一般項目)の調査地点 (平成 27 年 9 月)

2. 工事の実施状況

平成 27 年 9 月の工事の実施状況は、図－2 に示すとおりである。

大阪沖処分場平面図



埋立量 (m ³)	進捗率 (%)
3,396,592	24.3

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図－2 工事の実施状況 (平成 27 年 9 月)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】

二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.004ppm であった。また、日平均値の最高値は0.006ppm、1時間値の最高値は0.027ppm であり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.021ppm であった。また、日平均値の最高値は0.038ppm であり、環境基準の範囲内であった。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.021mg/m³ であった。また、日平均値の最高値は0.034mg/m³、1時間値の最高値は0.056mg/m³ であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質（一般項目） [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で8.1～8.7、下層で7.8～8.0の範囲にあり、上層では調査地点4、5において環境基準値の範囲を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

環境基準値を上回った調査結果は、上層における調査地点4(8.5)、調査地点5(8.7)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)では上層で7.7～8.6の範囲にあり、調査地点5の上層でこの範囲を若干上回っていたが、概ね同程度であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で4.0～6.0mg/L、下層で1.9～2.0mg/Lの範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点1(4.0mg/L)、調査地点2(4.3mg/L)、調査地点3(4.1mg/L)、調査地点4(5.9mg/L)、調査地点5(6.0mg/L)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)は上層で1.6～4.9mg/Lであり、調査地点4、5の上層でこの範囲を上回っていた。

調査当日、各調査地点では赤潮が確認されており、上層ではほぼ全地点でクロロフィルa、水素イオン濃度(pH)及び溶存酸素量(DO)の値が高くなっていることから、植物プランクトンの活動が活発であったと考えられた。また、本調査と同一日に調査が実施された周辺の環境基準点B-3(築港沖)、C-3(南港西)、C-4(堺泉北港西)(図-3)のうち、大阪沖処分場近

傍（約 3km）の地点 B-3 に加だけでなく、比較的離れた地点 C-4（約 7km）においても赤潮が確認されており、上層の化学的酸素消費量(COD)は地点 B-3 が 5.4mg/L、地点 C-4 が 5.8mg/L と高い値となっていた。このことから、周辺海域の広い範囲で植物プランクトンの増殖の影響を受けて化学的酸素消費量(COD)の値が高くなったものであり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 7.1~12mg/L、下層で報告下限値未満 (<0.5 mg/L) ~4.2mg/L の範囲にあり、上層では全ての地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層における調査地点 1 (3.2mg/L)、調査地点 2 (0.9mg/L)、調査地点 3 (4.2mg/L)、調査地点 4 (3.2mg/L)、調査地点 5 (<0.5mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は下層で 0.6~11mg/L であり、調査地点 5 の下層でこの範囲を若干下回っていたが、概ね同程度であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.54~0.86mg/L、下層で 0.27~0.43mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 1、2、4 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.79mg/L)、調査地点 2 (0.84mg/L)、調査地点 4 (0.86mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 0.46~2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全リン (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全リン (T-P) は上層で 0.082~0.13mg/L、下層で 0.049~0.13mg/L の範囲にあり、調査地点 3 の下層を除く全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.11mg/L)、調査地点 2 (0.12mg/L)、調査地点 3 (0.082mg/L)、調査地点 4 (0.13mg/L)、調査地点 5 (0.083mg/L) 及び下層における調査地点 1 (0.072mg/L)、調査地点 2 (0.095mg/L)、調査地点 4 (0.060mg/L)、調査地点 5 (0.13mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 0.021~0.15mg/L、下層で 0.020~0.25mg/L であり、いずれもこの範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

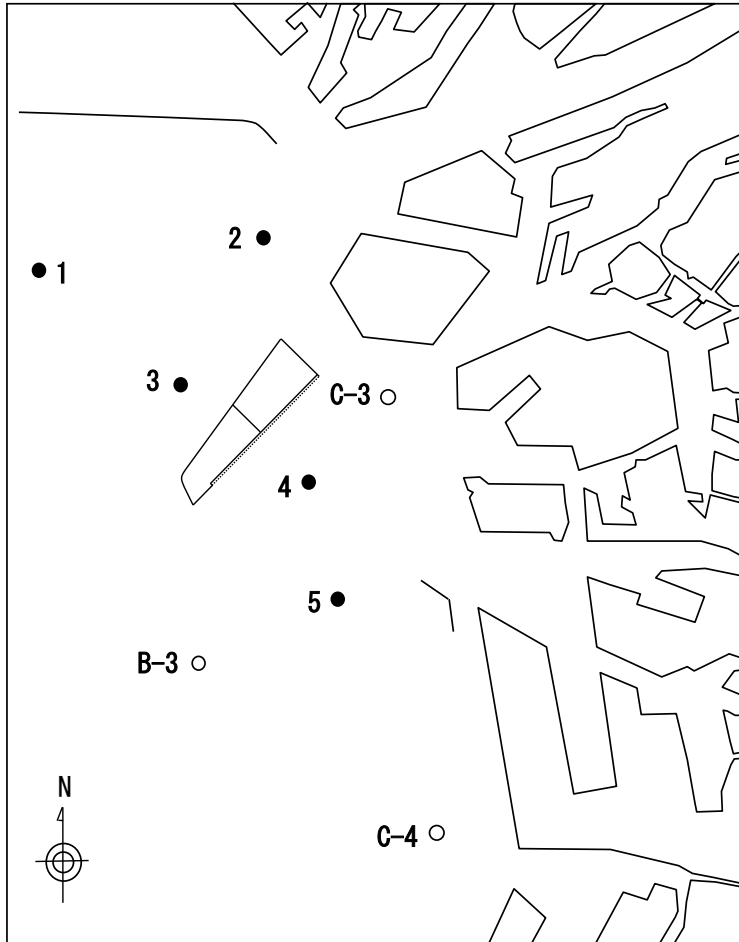
濁度は上層で 4.9~12 度(カリン)、下層で 1.3~4.0 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質（SS）は上層で5～10mg/L、下層で2～5mg/Lの範囲であった。

8) クロフィル a

クロフィル a は上層で29～64 μ g/L、下層で0.7～1.3 μ g/Lの範囲であった。



図－3 周辺公共用水域の地点図（数字のみは大阪沖処分場の事後調査地点）

《 参考 》

■環境基準等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m：環境基準を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質様式第1号（埋立地関連）

大気質測定結果総括表 [平成27年9月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	718
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	718
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	718
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [平成27年9月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (火)	0.005	0.013
	2 (水)	0.005	0.009
	3 (木)	0.004	0.007
	4 (金)	0.005	0.009
	5 (土)	0.006	0.012
	6 (日)	0.003	0.004
	7 (月)	0.003	0.005
	8 (火)	0.003	0.009
	9 (水)	0.003	0.006
	10 (木)	0.003	0.004
別	11 (金)	0.004	0.007
	12 (土)	0.005	0.012
	13 (日)	0.004	0.007
	14 (月)	0.003	0.005
	15 (火)	0.006	0.010
	16 (水)	0.005	0.010
	17 (木)	0.004	0.008
	18 (金)	0.005	0.010
	19 (土)	0.004	0.005
	20 (日)	0.004	0.007
値	21 (月)	0.004	0.007
	22 (火)	0.006	0.014
	23 (水)	0.006	0.009
	24 (木)	0.003	0.006
	25 (金)	0.004	0.009
	26 (土)	0.004	0.009
	27 (日)	0.003	0.009
	28 (月)	0.006	0.027
	29 (火)	0.005	0.007
	30 (水)	0.005	0.008
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		718	
月平均値 (ppm)		0.004	
日平均値の最高値 (ppm)		0.006	
1時間値の最高値 (ppm)		0.027	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）
 は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [平成27年9月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平均 値 (ppm)	1 時間 値 の 最高 値 (ppm)
日	1 (火)	0.013	0.033
	2 (水)	0.002	0.006
	3 (木)	0.013	0.028
	4 (金)	0.003	0.011
	5 (土)	0.000	0.003
	6 (日)	0.000	0.001
	7 (月)	0.002	0.009
	8 (火)	0.007	0.031
	9 (水)	0.004	0.049
	10 (木)	0.009	0.043
別	11 (金)	0.005	0.044
	12 (土)	0.003	0.021
	13 (日)	0.000	0.001
	14 (月)	0.001	0.005
	15 (火)	0.002	0.008
	16 (水)	0.002	0.008
	17 (木)	0.006	0.017
	18 (金)	0.002	0.011
	19 (土)	0.001	0.005
	20 (日)	0.000	0.001
値	21 (月)	0.001	0.003
	22 (火)	0.000	0.003
	23 (水)	0.000	0.002
	24 (木)	0.002	0.010
	25 (金)	0.007	0.025
	26 (土)	0.002	0.007
	27 (日)	0.000	0.001
	28 (月)	0.004	0.015
	29 (火)	0.003	0.030
	30 (水)	0.003	0.015
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		718	
月平均値 (ppm)		0.003	
日平均値の最高値 (ppm)		0.013	
1時間値の最高値 (ppm)		0.049	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）
 は、現時点では未確定値である。

大気質様式第4号（埋立地関連）

二酸化窒素測定結果 [平成27年9月分]

測 定 局		南港中央公園		
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日	1 (火)	0.030	0.050	
	2 (水)	0.028	0.052	
	3 (木)	0.038	0.051	
	4 (金)	0.023	0.034	
	5 (土)	0.020	0.034	
	6 (日)	0.018	0.024	
	7 (月)	0.021	0.035	
	8 (火)	0.026	0.042	
	9 (水)	0.022	0.044	
	10 (木)	0.027	0.039	
	別	11 (金)	0.020	0.043
		12 (土)	0.021	0.038
		13 (日)	0.012	0.023
		14 (月)	0.017	0.032
		15 (火)	0.030	0.058
16 (水)		0.026	0.040	
17 (木)		0.026	0.045	
18 (金)		0.021	0.042	
19 (土)		0.013	0.031	
20 (日)		0.007	0.017	
値		21 (月)	0.012	0.022
		22 (火)	0.014	0.028
		23 (水)	0.015	0.027
		24 (木)	0.021	0.039
		25 (金)	0.029	0.056
	26 (土)	0.019	0.035	
	27 (日)	0.009	0.016	
	28 (月)	0.026	0.053	
	29 (火)	0.023	0.038	
	30 (水)	0.027	0.047	
有効測定日数 (日)		30		
測定時間 (時間)		718		
月平均値 (ppm)		0.021		
日平均値の最高値 (ppm)		0.038		
1時間値の最高値 (ppm)		0.058		
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0		
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0		
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0		
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。

その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [平成27年9月分]

測定局		南港中央公園			
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)	
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		
日	1 (火)	0.044	70.0	0.069	
	2 (水)	0.030	93.0	0.056	
	3 (木)	0.051	74.3	0.079	
	4 (金)	0.026	89.0	0.044	
	5 (土)	0.020	98.1	0.037	
	6 (日)	0.018	99.3	0.024	
	7 (月)	0.023	93.1	0.044	
	8 (火)	0.034	78.1	0.072	
	9 (水)	0.026	83.1	0.093	
	10 (木)	0.036	74.8	0.082	
	別	11 (金)	0.025	81.0	0.082
		12 (土)	0.025	87.4	0.049
		13 (日)	0.012	99.3	0.023
		14 (月)	0.018	93.3	0.037
		15 (火)	0.032	92.9	0.062
16 (水)		0.028	92.2	0.048	
17 (木)		0.032	82.6	0.055	
18 (金)		0.023	92.3	0.053	
19 (土)		0.014	93.9	0.036	
20 (日)		0.007	98.8	0.018	
値	21 (月)	0.013	95.1	0.025	
	22 (火)	0.015	97.2	0.028	
	23 (水)	0.015	97.5	0.029	
	24 (木)	0.023	91.2	0.049	
	25 (金)	0.036	80.6	0.067	
	26 (土)	0.020	91.2	0.041	
	27 (日)	0.009	98.1	0.016	
	28 (月)	0.031	86.5	0.059	
	29 (火)	0.026	88.2	0.068	
	30 (水)	0.030	89.5	0.062	
有効測定日数 (日)		30			
測定時間 (時間)		718			
月平均値 (ppm)		0.025			
日平均値の最高値 (ppm)		0.051			
1時間値の最高値 (ppm)		0.093			
月平均値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		86.7			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂ / (NO+NO₂) の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値 NO₂ / (NO+NO₂) =

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [平成27年9月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (mg/m ³)	1時間値の 最高値 (mg/m ³)
日	1 (火)	0.031	0.050
	2 (水)	0.026	0.049
	3 (木)	0.031	0.053
	4 (金)	0.034	0.056
	5 (土)	0.028	0.053
	6 (日)	0.028	0.045
	7 (月)	0.019	0.037
	8 (火)	0.017	0.039
	9 (水)	0.013	0.026
	10 (木)	0.020	0.039
別	11 (金)	0.019	0.034
	12 (土)	0.026	0.042
	13 (日)	0.021	0.040
	14 (月)	0.013	0.026
	15 (火)	0.026	0.046
	16 (水)	0.023	0.043
	17 (木)	0.021	0.035
	18 (金)	0.015	0.032
	19 (土)	0.017	0.034
	20 (日)	0.016	0.032
値	21 (月)	0.020	0.044
	22 (火)	0.021	0.037
	23 (水)	0.030	0.046
	24 (木)	0.020	0.036
	25 (金)	0.016	0.035
	26 (土)	0.017	0.034
	27 (日)	0.018	0.039
	28 (月)	0.022	0.039
	29 (火)	0.023	0.036
	30 (水)	0.014	0.032
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		718	
月平均値 (mg/m ³)		0.021	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.034	
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.056	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）
 は、現時点では未確定値である。

大気質様式第7号（埋立地関連）

気象観測結果（風向・風速）[平成27年9月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多風向 16方位
		平均風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (火)	0.7	1.8	E	CALM
	2 (水)	0.8	1.6	WSW	WSW
	3 (木)	0.6	1.2	E	CALM
	4 (金)	1.0	1.9	WSW	WSW, W
	5 (土)	0.7	1.6	ENE, WSW	WNW
	6 (日)	0.9	1.5	E	NNE, E, N
	7 (月)	1.0	1.6	NNE	N
	8 (火)	1.0	1.9	ENE	NNE
	9 (水)	1.0	2.5	W	WSW, W
	10 (木)	0.8	1.9	N	N
別	11 (金)	0.9	2.6	WSW	WSW
	12 (土)	0.7	1.9	W	CALM
	13 (日)	1.1	2.5	SW	WNW, N
	14 (月)	1.1	2.1	N	N
	15 (火)	0.9	2.0	E	N
	16 (水)	1.4	2.1	NE, ENE	ENE
	17 (木)	1.3	2.1	NW	NNE
	18 (金)	0.8	1.9	W	NW, N
	19 (土)	0.9	1.9	WNW	NW
	20 (日)	0.8	1.7	N	NNW
値	21 (月)	0.9	1.9	N	N
	22 (火)	0.8	1.9	E	W
	23 (水)	1.1	3.2	ESE	E
	24 (木)	1.8	2.7	NE	ENE
	25 (金)	1.0	2.2	ENE	NNE
	26 (土)	1.0	2.0	N	N
	27 (日)	0.8	2.2	N	N
	28 (月)	0.9	2.1	NNE	N
	29 (火)	1.0	1.8	N, NE	N
	30 (水)	0.8	2.0	NE	NNE
測定時間 (時間)		720			
月平均風速 (m/s)		1.0			
月最大風速 (m/s)		3.2			
月最多風向 (16方位)		N			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [平成27年9月分]

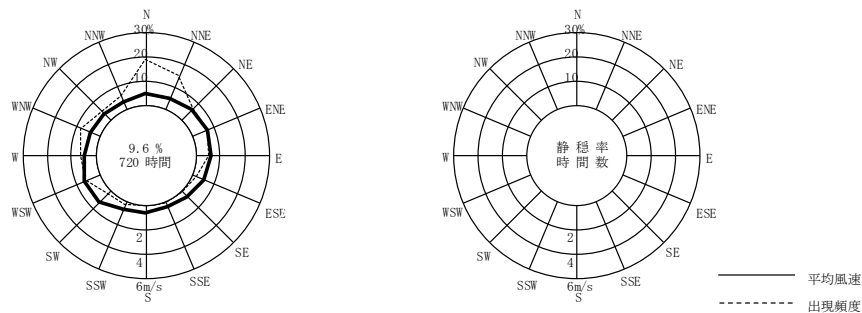
方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	107	48	52	39	16	6	5	2	9	12	42	42	58	36	43	134	69	720
頻度 (%)	14.9	6.7	7.2	5.4	2.2	0.8	0.7	0.3	1.3	1.7	5.8	5.8	8.1	5.0	6.0	18.6	9.6	-
平均風速 (m/s)	1.0	1.2	1.4	1.3	1.1	0.7	0.5	0.6	0.7	1.2	1.3	0.9	0.8	0.7	0.7	1.0	0.2	-

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

測定局: 南港中央公園局

風向風速計高さ: 14.2m

凡例



注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成27年9月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）[平成27年9月分]

調査日：平成27年9月3日

項目	調査点					最小値 ~ 最大値	平均値	
	1	2	3	4	5			
時刻	9:45	10:13	9:23	8:57	8:36	—	—	
透明度 [m]	1.3	1.3	1.8	1.3	1.3	1.3 ~ 1.8	1.4	
水温 [°C]	26.0	25.9	26.0	26.1	26.7	25.9 ~ 26.7	26.1	
	24.4	24.6	24.5	24.5	24.6	24.4 ~ 24.6	24.5	
塩分 [-]	19.61	20.35	26.59	22.65	24.22	19.61 ~ 26.59	22.68	
	31.71	31.51	31.74	31.76	31.80	31.51 ~ 31.80	31.70	
濁度 [度(カリン)]	4.9	9.6	7.1	11	12	4.9 ~ 12	8.9	
	4.0	1.3	2.7	2.1	2.6	1.3 ~ 4.0	2.5	
浮遊物質 (SS) [mg/L]	8	8	5	10	10	5 ~ 10	8	
	5	2	3	3	3	2 ~ 5	3	
水素イオン濃度 (pH) [-]	8.1	8.1	8.2	8.5	8.7	8.1 ~ 8.7	—	
	7.9	7.8	8.0	8.0	7.8	7.8 ~ 8.0	—	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	4.0	4.3	4.1	5.9	6.0	4.0 ~ 6.0	4.9	
	1.9	2.0	2.0	1.9	1.9	1.9 ~ 2.0	1.9	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	7.1	7.1	8.2	11	12	7.1 ~ 12	9.1
		3.2	0.9	4.2	3.2	<0.5	<0.5 ~ 4.2	2.4
	飽和度 [%]	98	98	118	155	172	98 ~ 172	128
		46	13	61	46	6	6 ~ 61	34
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.79	0.84	0.54	0.86	0.58	0.54 ~ 0.86	0.72	
	0.35	0.43	0.27	0.29	0.42	0.27 ~ 0.43	0.35	
全燐 (T-P) [mg/L]	0.11	0.12	0.082	0.13	0.083	0.082 ~ 0.13	0.11	
	0.072	0.095	0.049	0.060	0.13	0.049 ~ 0.13	0.081	
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]	29	29	30	64	57	29 ~ 64	42	
	0.7	1.0	1.0	1.1	1.3	0.7 ~ 1.3	1.0	

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
